

# ～震災復興に関する研究～

## 新しい主力サンマ漁船の緊急建造のための船型開発

(独)水産総合研究センター水産工学研究所 漁業生産工学部 川島 敏彦

漁船の省エネが重要な研究課題になっています。安いコストで就業漁船にも応用できる省エネ技術として「船体リニューアルによる省エネ技術の開発」の研究を実施してきました。写真に示すような画期的な技術開発にも成功し、サンマ漁船に適用した結果ではエンジン馬力10%の削減が可能であることを証明しました。現在、多くの漁船に応用できるように懸命に研究に傾注しています。3.11の震災により我が国の大型漁船1400隻のうち200隻が被災し、主力サンマ漁船51隻のうち40%(19隻)が消滅してしまいました。現在、水産庁はじめ関係機関が懸命に復旧建造の努力をされていますが、当所でも新しいサンマ漁船の船型開発を行い、震災復興に貢献できるよう努力を続けています。



革新的ビルジキール(特許)



リニューアル後の雄姿(当所の技術を応用)



震災による被災により焼失し廃船

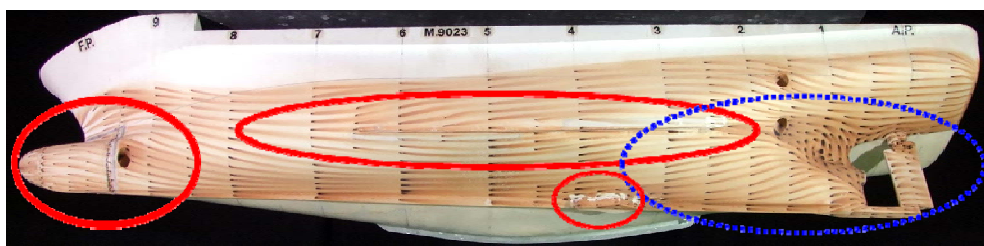
この船が、被災!

### 新技術で復興を支援!

病院検査と同じように、  
模型船を用いて船型  
の問題点を調べます。  
過剰能力・装備、技術  
の見直しを図ります。  
この模索により新しい  
漁船像を提案します。



模型試験の様子



模型船の表面の流れ(この船型では線で囲んだ箇所に問題があります)